



【教育目標】

自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成
～～～ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ～～～

☆3月の目標

- ☆3つの「あ」
- ※あいさつ
- ※あんぜん
- ※あとかたづけ

☆配布物のお知らせ

・学校便り55号

☆今後の主な予定

- ・3月25日卒園式・卒業式 修了式
- ・4月 8日始業式、入園式 入学式

☆四年二組 「ウナギのなごを追って」

村上賢二郎

ウナギのなごを追ってとは、日本の調査グループがウナギがどこでたまごを産むのかを長年かけて調査したお話です。

調査は、ウナギがたまごを産む場所を明らかにするために一九三〇年ごろに始まり、筆者たちはより小さいレプトセファルスを探し求めました。最初は、台湾の近くで五十四ミリのレプトセファルスを見つけた。海流をさかのぼり、だんだん小さいものを見つけた。そして、ウナギは新月にマリアナ諸島のフロントと海山の重なりが交わる地点でたまごを産むことをつきとめ、二〇〇九年の五月にたまごを二つとることに成功しました。

ぼくは、この話を読んで、ウナギのたまごを産む場所をつきとめるまで約八十年近くかかったことにおどろき、また感心しました。筆者自身も三十六年間もウナギのたまごをさがし続けたことは本当にすばらしいと思いました。

☆四年二組 「ウナギのなごを追って」

福地星太

ウナギのなごを追ってとは、ウナギがたまごを産む場所をさがす調査のお話です。

ウナギがたまごを産む場所をさがす調査は一九三〇年ごろから八十年近くの年月がかかった。筆者は一九七三年に調査に加わった。海流の上流へ行くほどとれるレプトセファルスは小さくなっていった。ウナギは、

新月のころにフロントと海山の重なりが

交わる地点でたまごを産むしれないと考える調査を続けた。筆者が調査に加わってから三十六年後、ついに、たまごが二つとれた。大きさは、一・六ミリメートルだった。

ぼくは、ウナギがたまごを産む場所に人がたどり着いたのは、きせきのようなと思った。なぜなら、広い海の中でその場所にたどり着くには、とても努力し苦労しなければならぬけれど、筆者たちはたどり着けたからだ。

☆四年二組 「ウナギのなごを追って」

小松 萌愛

ウナギのなごを追ってとは、調査グループがウナギの赤ちゃんのレプトセファルスやウナギのたまごを見つけるお話です。

マリアナの海に日本中のウナギが集まってきてたまごを産みます。その調査は、一九三〇年ごろから小さなウナギを追い求めることから始まりました。一九六七年に台湾の近くでウナギの赤ちゃんのレプトセファルスが最初にとれました。(五十四ミリメートル)二〇〇九年五月二十二日にたまごが二つとれました。

(一・六ミリメートル)筆者が調査に加わってから三十六年がたっていました。まだ、知らないことがいっぱい、調査は続いています。

わたしがこの話を本で一番心に残ったことは、ウナギがたまごを産む場所が発見されたことです。その中でも、調査グループが長い年月をかけて二つのたまごを見つけたことにおどろきました。

☆六年一組 卒業に向けて 「大切にしたい言葉」

山内 絢加

私は感謝の言葉を大切にしたいです。感謝の言葉は、自分に対して良いことをしてもらったという言葉だと私は思っています。

例えば、ありがとうございますは感謝の言葉です。みなさんはこの言葉を一日に一回以上は使っていると思います。そのありがたうは、誰に使っているでしょう。私はほとんどが先生、友達、もしくは困っている時に助けてくれた人です。けれど私は、ほとんどありません。こうやってふり返ってみると、いろいろな事を一番多く助けてくれていたのに、なぜありがたうと言わなかったのだろうと思えました。なので私はこれから、家族にもあたりまえのことに感謝を言おうと改めて思いました。

最後に、今まで感謝の言葉を誰に使ってきたか、というところをふり返ってみて、とてもささいなことでも感謝の言葉を使いたいです。



☆六年一組 卒業に向けて

「感謝の思い」 降矢 望空

私はいろんな人に感謝したいです。それは、日本にいた時の学校の先生や友達、また、アメリカに来てからの学校の先生、アメリカ人の友だち、日本人学校の先生、日本人学校の友だち、両親など、いろんな人々に感謝したいです。

なぜかというところ、私が困ったりすると教えてくれたり助けてくれたりするからです。もし、いろんな人達がいなかったら、今の自分はいないと思いましたが、だから、その人達のためにもがんばろうと思えました。

最後に、今の自分が

あるのはいろんな人の助けがあったからです。だから、精一杯いろんなことに対して頑張ろうと思えました。とてもみんなに感謝しています。



☆六年一組 卒業に向けて

「将来の夢」 出口 華蓮

私の将来の夢は、ネイルアーティストです。小さい時から興味がありました。なぜかというところ、小さい時にお姉ちゃんがいつもつめをかわいくしてもらったので、興味がありました。今は友達をつめをしたりしています。家で時間があつたら、動画などを見て、どうやってかわいくするのかを見ています。ネイルサロンやちがうところはどうやってそんなにつめを上手にできるのかなあと思っています。もっと練習して、上手になりたいです。大きくなって上手になつたら、いっぱい人のつめをかわいくしてあげたいです。これが私の夢です。



☆六年一組 卒業に向けて

「将来の夢」 池田 真彬

ぼくの将来の夢は、まだ決まっていません。でもぼくは、今作ることにとても興味があります。毎日のようにレゴやプラモデルを作っています。だからぼくはそのことを生かして何かを作る仕事につきたいと思っています。

例えば、レゴビルダーやプラモデルのデザインを考えたりしたいと思っています。他に、家の中の設計にも興味があるので、設計士にもなってみたいです。色々なテレビ番組が好きで見ているので、頭の中でのことを考えるのが好きだからです。将来好きな職業につくためには、勉強をがんばらないといけません。これからもがんばって勉強したいと思っています。



☆六年一組 将来の夢

松崎 結心

私は大好きな言葉があります。それは、夢は見るものではなくて叶えるもの」という言葉です。この言葉は、「夢は諦めない」として、評える為に努力する」という思いが込められていると思います。将来に向かって前向きになれる良い言葉です。

そんな私の将来の夢は、ファッション関係の仕事につく事です。デザイナーかスタイリストです。私は小さい時から洋服が大好きです。そして絵をかくことも好きです。色や形にこだわりの持ち主です。自分の好きな事を仕事に出来たのなら、とても幸せだと思います。その将来の夢を叶える為に、私は勉強と努力をしなければなりません。デザイナーになる為には、専門的な素材や柄や色を覚えなければならないと思います。スタイリストになる為には、流行となるものを早く取り入れる為に、流行になるだろうと思うものを考えたり、調査したりという事が必要になると思います。ファッションに関する専門的な知識が必要だと思つたので、ファッション関係の学校へ進学したいと思っています。

将来の夢を叶える為に、中学校、高校の勉強はあと残りですが、ファッションに関係する事もいっしょに頑張りたいと思います。



☆六年一組 「生き物はつなかりの中に」

大幡 蘭

筆者は、生き物達は毎日生きることによって生き続け、そして過去のすべてのつながりや未来へもつながりやがついていく存在だと述べています。だから今生きていくということとは、未来につながりやがついていくことです。私は、筆者が述べていることに共感します。今生きていくことは、未来へ必ずつながりやがついていくからです。

例えば、昔の人達が作り出したものは今につながっています。だから今生きていくことは、必ず未来へつながりやがついていくことだと思います。私は、今生きていくことは未来へどうつながりやがついていくかなども考えていきたいです。そしてそれを考えるには、今私は何をしたらいいかをもっと考えていきたいです。私は今、生きるという事は、つながりやがついていくことだと感じています。



☆六年一組 「生き物はつなかりの中に」

高杉 昌汰

筆者は、あなたが生き物である事はとてもすてきで、今も明日もその先もあなたで、たった一つのかげがえのない存在、それと同時に過去と未来のすべてをつながる存在である、と言っています。僕も、これには強く共感します。全ての人が、たとえ自分自身が思わなくても、きつとだれかにとつてかけがえのない存在であるという考えは、元々持つていたからです。だから他人を、他の生き物を、大切にしなければいけないとも思っています。しかし違う考えもあり、それは、筆者のロボットへの考えです。筆者は、ロボットはまるで生き物とは完全に対となる存在かのように言っています。しかし僕は、ロボットも、作つた人にはかけがえのない存在で、生き物と同じように思います。

☆保護者の皆様へ… 1年間お世話になりました。ありがとうございました。

- ・「安全パトロール」の皆様
20分休みや昼休みに見守っていただきました。
- ・「図書係」の皆様
本の購入や図書室の整理、環境づくりに尽くしていただきました。
- ・「ベル係」の皆様
校内放送や、始業時間のお知らせ、看病までお世話になりました。
- ・「コピー係」の皆様
宿題プリントや文集づくり、たくさん印刷していただきました。
- ・「国際ボランティア、パス担当、役員、地区委員さん」…多くの皆様方に、心より感謝いたします。ありがとうございました。



